

【礼拝賛美】主はぶどうの木

(※↓★↓※の順)

※主はぶどうの木 わたしは枝です  
いつも離れずに  
主はぶどうの木 わたしは枝です  
豊かな実を結ばせ

★みことばにとどまり愛に生きるなら

この世は知るでしょう

主の救いと いやし

・各例会報告 先週5日は各例会日。全体で50名以上の出席。良き交わりでした。今年創立90周年。以前とは異なり大掛かりな企画はありませんが、落ち着いて兄弟姉妹との交わりに時間を割いています。コロナ禍による分断、教勢減少という状況だからこそ回復のための一足一足です。

・能登半島地震復興支援ボランティア  
5/14(火)～16(木)の3日間、萩野牧師、林伝道師、林良勇兄の3名が出掛けます。ボランティアに入りつつ、現地の情報を集めてきます。可能ならば、今後も継続してボランティア派遣の実施を行いたいと考えています。

【礼拝賛美】「罪の淵におちいりて」

インマヌエル讃美歌362

(聖歌548「罪に沈むなが友に」)

●罪の淵におちいりて沈み行く人々に  
救いの船よぎよせよ 雨の日も風の夜も

※一人だにも 滅ぶるは

御旨(みむね)ならじ 助けよ

●そむき去りし子をしのび

夜も寝ぬ母のこと

父の神は待ちたもう ただ悔いて帰れよと

●悩む者の涙よりなお深き嘆きをば

わが主イエスは なしたもう

伝えずや この御旨(みむね)

●情け知らぬ罪人の 心にも宿るなり

母の顔 神の愛 ここにこそ救いあれ

【参加者募集！】

ハレルヤコーラスを歌いましょう！

創立90周年記念礼拝(10月6日)で「ハレルヤコーラス」を賛美します。

ぜひ、ご参加ください！

練習日 第1回 6月23日 13時半～

第2回 7月28日 13時半～

※参加希望者は受付掲示板の申し込み表に名前を記入してください。

「イエスは、…母に『女の方、御覧なさい。あなたの息子です』と言われた。それから、その弟子に『御覧なさい。あなたの母です』と言われた。」

ヨハネ福音書 十九章二十三節～二十七節

「母の目」を記念する礼拝です。その始まりは神が「あなたの父と母を敬え」と命じられたことばにあります。十の戒めの前半は神に対して、後半は人に対するものです。イエスはこれを「神を愛し、隣人を愛せよ」の二つを重要な戒めとして教えられました。「敬う」は「重んじる(尊び大切に)」を意味し、そのように対応することばが命じられています。即ち、子どもにとって最も近い隣人は父と母なのです。聖書はそこを人間の基底としています。そこに未永く神が祝福される道だと教えます。冒頭の引用聖句は、主イエスが十字架の上で発せられた七つの言葉の一つです。イエスは母に「女の方」と言われています。

ヨハネには「母」と言って母をヨハネに託されています。「女の方」は『親愛と尊敬』を表わし、「母」は「母として大切にすべき人」のことです。この二つの言葉にイエスの内に在った「女の方と母」「神の子」と「人の子」に葛藤する秘められた愛の絆の響きが、心の琴線に触れて来ます。イエスの少年時代、青年時代は「父と母に仕える」生活であったことがわかります。「父と母を敬え」に徹していました。

しかし、最後の三年半を辿ると今のイエスは十字架の上に釘づけられて死を目前にされています。母マリアはその側に痛みと苦しみ、涙を流し立ち尽くしています。その母に、イエスはわたしの亡き後をヨハ

ネに託す言葉をかけられました。「女の方」と呼びかけたイエスの心には堅い使命感があり、「母」という言葉には、マリアにはどんなに愛する大切な人であるかが込められていたと思います。マリアはかつて告げられたシメオンの言葉が思い出されたと思います。この幼子が救い主であり、そのために苦しみと、母であるマリアの心さえも剣が刺し貫くと言われた言葉がいま現実となつています。母の愛と力の限界が知らされたのではないのでしょうか。「愛は神から出る」のです。自分の子どもを自殺で失った母親が、教会に導かれ、涙ながらに心を打ち明け、個人伝道を通して神の愛が注がれるのを感じ、自らの限界を知らず神様を無視した生き方が罪であることを知り、砕かれた心で初めてお祈りをしたのです。母の愛は最高です。それに勝るのは神の愛です。どうぞ、神の愛を知ってください。(英)

5月12日 母の日聖日礼拝  
 第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄  
 第2礼拝 11時 武山 兄 榊原 姉

前奏  
 招詞 イザヤ書43章1節  
 会衆賛美 聖歌651  
 会衆賛美 主はぶどうの木  
 主の祈り  
 交誼 詩篇71篇1〜8節  
 (旧約聖書 1004頁)

礼拝祈禱  
 使徒信条  
 聖書朗読 ヨハネの福音書 19章23〜27節  
 (新約聖書 225頁)

説教 御子キリストと母マリア 田中英師  
 会衆賛美 インマヌエル讚美歌362  
 (聖歌548「罪に沈むなが友に」と同曲)

献金  
 頌栄 聖歌376  
 祝祷  
 報告  
 感謝祈禱 奏楽

【招詞(主の招きのことば)】  
 イザヤ書43章1節「恐れるな。わたしはあなたがたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。」アーメン

【本日の予定】  
 ■会堂清掃 礼拝終了後  
 ■小学科ホザナ礼拝 3階 11時〜  
 お話 荻野牧師  
 ■バイブルカフェ  
 談話室 12時15分〜

■教団理事会  
 オンライン会議  
 15時30分〜

※本日、オアシステイ。  
 午後には教会のプログラムを入れていません。3階や4階和室など各階・各室は交わりに使えます。

【本日の礼拝奉仕者】  
 ■第1礼拝  
 礼拝祈禱 司会者  
 聖書朗読  
 献金1階 司会者  
 献金祈禱  
 報告  
 受付  
 配信 配信チーム

■第2礼拝  
 礼拝祈禱  
 聖書朗読  
 献金1階  
 1階  
 2階  
 献金祈禱 司会者  
 報告  
 会場  
 受付  
 パワポ パワポチーム

【来週の礼拝説教】  
 ペンテコステ礼拝  
 説教者 荻野牧師  
 聖書箇所 使徒の働き 16章1〜15節

■本日「母の日」  
 「母の日」の起源は19世紀アメリカ。アンナ・シャープレスというクリスチャン女性が、「父と母を敬え」との聖書のことばに従い、亡き母への感謝を示したのが始まりです。  
 人は必ず母の胎から生まれます。社会構造や家族関係の変化で親子関係も複雑になり、アンナのように率直に感謝を表すことが難しいケースが多く見受けられます。しかし、人の成長には母親的な役割を担う存在が必ず必要です。産みの母なのか、育ての親や恩師かは様々でも、自分を育ててくれた存在に感謝を現すことは自らの人生を豊かにします。

■シオン教会創立者召天記念日  
 創立者 岸田愛治牧師  
 召天日 1976年5月13日  
 1934年(昭和9年)に設立されたシオン教会は、創立者の指導のもと戦中、戦後の厳しい時代を通りました。特に戦中はキリスト教会は敵性宗教として迫害されました。戦後も資金・資材は乏しくまさに「信仰のみ」という中で、主に望みを置いて進んだと教会の歴史は伝えていきます。私たちも、今という厳しさに身を置きますが、創立者の心を燃やした聖霊の助けを仰ぎつつ進みましょう。

公 示

左記の通り、定期教会総会を開催致します。

〔日時〕 2024年5月26日(日)  
 午後1時30分より

〔会場〕 1階礼拝堂

〔議題〕  
 ・第1号議案 2023年度事業報告  
 ・第2号議案 2023年度決算報告  
 会計監査報告  
 ・その他

正会員の皆様には、出席をよろしくお願い致します。

2024年5月12日  
 シオン・キリスト会  
 役員会

〔配布物〕  
 ・教会総会資料  
 ・議決権行使書

右記の通り、本日、週報欄にてお届けします。総会を欠席の場合は、議決権行使書の提出をお願い致します。

〔その他について〕  
 議題として扱う項目は上記の公示の通りで、例年の決算と同じです。それとは別に、今回の教会総会では、今後に取り組もうとしている大きな案件についても説明をいたします。その案件とは左記の2点です。  
 (1) 教会堂外壁補修の件  
 (2) 聖日礼拝を1回とする件

今回の教会総会資料の巻末に説明を掲載しています。教会総会の席上でも主任牧師より説明申し上げます。